



ふるさとの**自然** ————— 53

## 水辺から響く重低音 ウシガエル

### ○別名、食用ガエル

春から夏にかけて池や沼、水路などの方から「ブオー、ブオー」という低い声が響いてきます。ウシガエルです。鳴き声が牛に似ていることからその名が付けました。体重は500 gにもなり、後脚が太くて大きくカエルの王者の貫禄十分です。食用にされたため食用ガエルとも呼ばれます。肉は鶏のささ身のようなさっぱりした味で、美容食として昭和20～40年代には毎年数百tも輸出されていました。

### ○たくましく生きる

ウシガエルは100年ほど前、食用としてアメリカから輸入されました。その後、養殖場から逃げ出したり放されたりして各地に広がり、今では日本全国に住んでいます。餌は水辺に住む昆虫、小魚、エビ、カエル、トカゲ、小鳥、ネズミなど何でも食べます。ちなみにアメリカザリガニは、養殖ウシガエル用の餌として輸入されたものです。

貪欲なウシガエルは、日本本来の水辺の生き物を食い荒らす有害な特定外来生物に指定され、今は飼育するための捕獲や、放流は禁止されています。

(旭市文化財審議会委員 齊藤敏一)